

ポラン通信

vol.7

秋冬寒さ対策特集！足腰膀胱を守れ！

2022年11月

あっという間に秋？いや冬？になりますね。今回はわんちゃんねこちゃんの寒さ対策を特集いたします。季節の変わり目、体調崩す子は多いのです。早めの予防をしましょう！

膀胱炎予防のお約束4コマ
わんこも対策は同じだよ！

ところでワクチン打ってますか？

え？寒さ対策と関係あるの？と思われるかもしれませんが、冬は、一般的にウイルス感染症が流行しやすい時期です。乾燥して(湿度40%以下)気温が低い(15℃以下)と、ウイルスは空中にまいやすく、また気温の変化でどうぶつの免疫も落ちがちです。

過去にペットショップのクリスマスフェアで購入されたというわんちゃんがパルボウイルス大流行・・
というのを経験があります。元気なうちにきちんとしたワクチンプログラムで接種しましょう。大人になると接種し忘れがちですが、わんちゃんもねこちゃんも少なくとも前回接種から3年以上経過していたら獣医さんに相談しましょう！



猫風邪ってなに？

この時期になると猫ちゃんが鼻水ズビズビ、くしゃみ連発、目脂がでていう症状が多くなります。これを「猫風邪」と一般的に呼んだりしますが、上部呼吸器感染症(URI)というものでメインの病原体はヘルペスウイルス、カリシウイルスです。他にはマイコプラズマ、ボルデテラ、クラミジアといった細菌も二次感染することがあります。だいたい潜伏期は2週間ほどで人や物を媒介して感染したり、同居猫のグルーミングでうつります。もともとキャリアとなっていて、ストレスが引き金となって発症することが多いです。

免疫が低下している持病持ちの子や子猫、高齢猫にとっては重症化することもあります。

発症したら、暖房などで室温を温かくして、加湿もしましょう。鼻の通りが良くなります。食欲の出る美味しいウエットフードなどを与え、ストレスを減らします。それでも改善がなければ病院に行きましょう。

再発予防のためにはワクチン接種も必要です。もししばらく3種混合ワクチンを打っていないければ体調が良くなったら打つことをお勧めします。ヘルペス、カリシウイルスに対して有効で、症状を軽くすませる効果があります。



関節炎に要注意！

高齢になるとおんちゃんも猫ちゃんも、背骨や関節に炎症や変形がおきて痛みが出る場合があります。特徴としては、朝、寝起きにぎこちない歩き方をするが、歩き続けるとスムーズになる、などです。もちろんずっと痛がってヒョコヒョコすることもありますし、段差を躊躇するようにもなります。

気温が下がると筋肉がこわばり症状が悪化することがあります。もし最近になってそういう症状が出たら、病院を受診しましょう。